

2018年（平成30年）2月期 第2四半期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2017年10月10日（火）

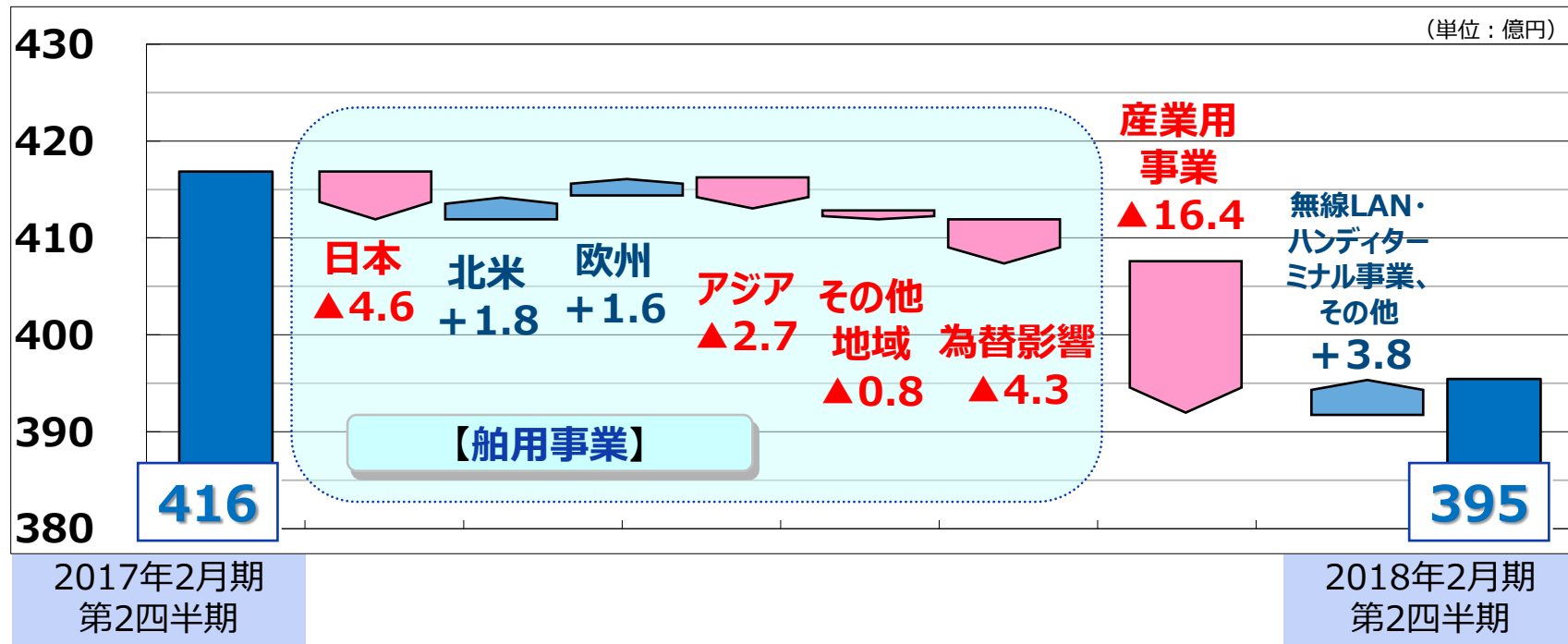


注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	41,683	39,544	▲2,139	▲5.1%
売上総利益 (対売上高比率)	14,953 35.9%	14,430 36.5%	▲523 +0.6	▲6.4%
営業利益 (対売上高比率)	2,389 5.7%	1,700 4.3%	▲689 ▲1.4	▲28.8%
経常利益 (対売上高比率)	2,130 5.1%	1,498 3.8%	▲632 ▲1.3	▲29.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	1,919 4.6%	1,360 3.4%	▲559 ▲1.2	▲29.1%
研究開発費 (対売上高比率)	2,061 4.9%	2,088 5.3%	+27 +0.3	+1.3%
設備投資額 (対売上高比率)	1,731 4.2%	1,579 4.0%	▲152 ▲0.2	▲8.8%
減価償却費 (対売上高比率)	1,342 3.2%	1,552 3.9%	+210 +0.7	+15.6%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	116	113	▲3	▲2.7%
為替（対ユーロ）	125	122	▲3	▲2.5%



◆ 船用事業 ▲9.0億円

- 為替影響 ▲4.7億円
- 日本・アジア：商船市場向けで減収縮小
- 北米：漁業市場向けで増収拡大
- 欧州：漁業市場向け・小型商品で減収

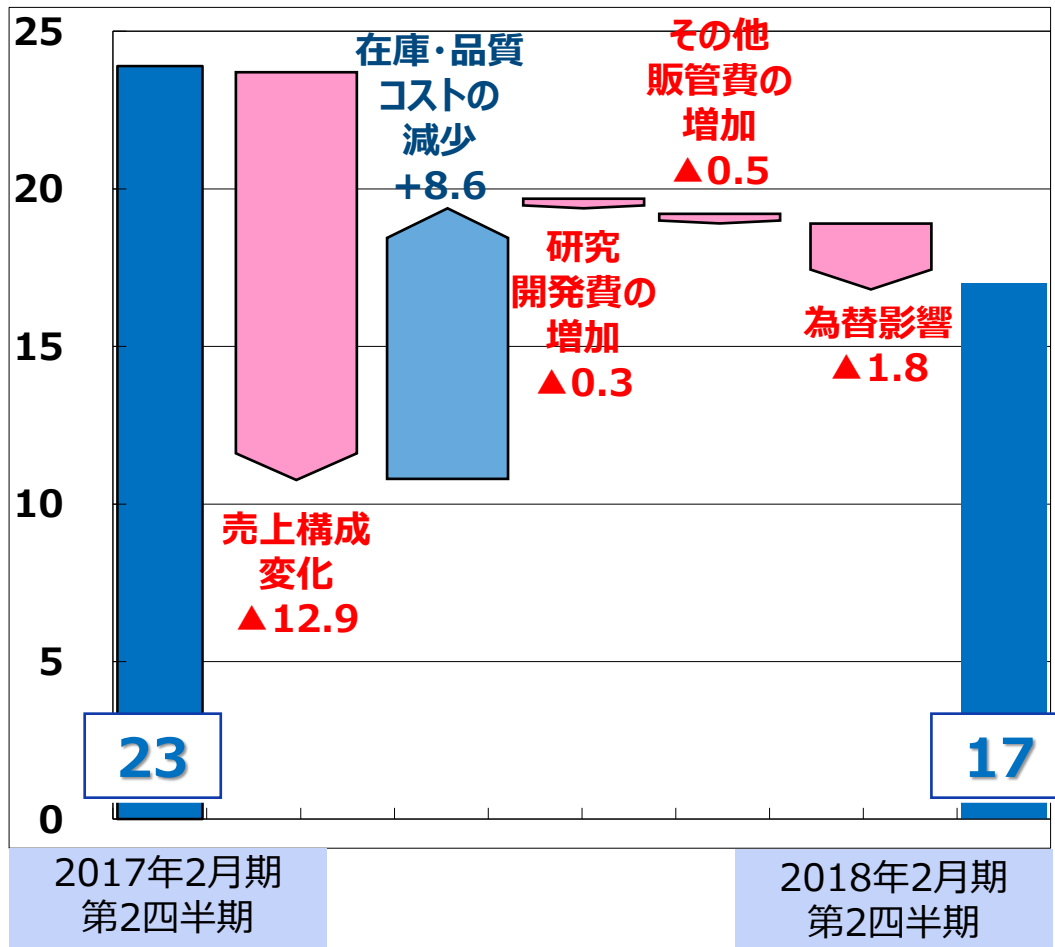
◆ 産業用事業 ▲16.4億円

- 各事業で減収
- ◆ 無線LAN・ハンディターミナル事業 +3.8億円
 - 無線LANアクセスポイントが好調

※ 為替感応度 (2017年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.3億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.3億円、営業利益0.5億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆ 営業利益 ▲6.9億円

【改善】 +8.6億円

【悪化】 ▲15.5億円

◆ 経常利益 ▲6.3億円

営業外収益 ▲1.3億円

営業外費用 ▲1.9億円

➤ 前期：為替差損 5.4億円

➤ 今期：為替差損 3.4億円

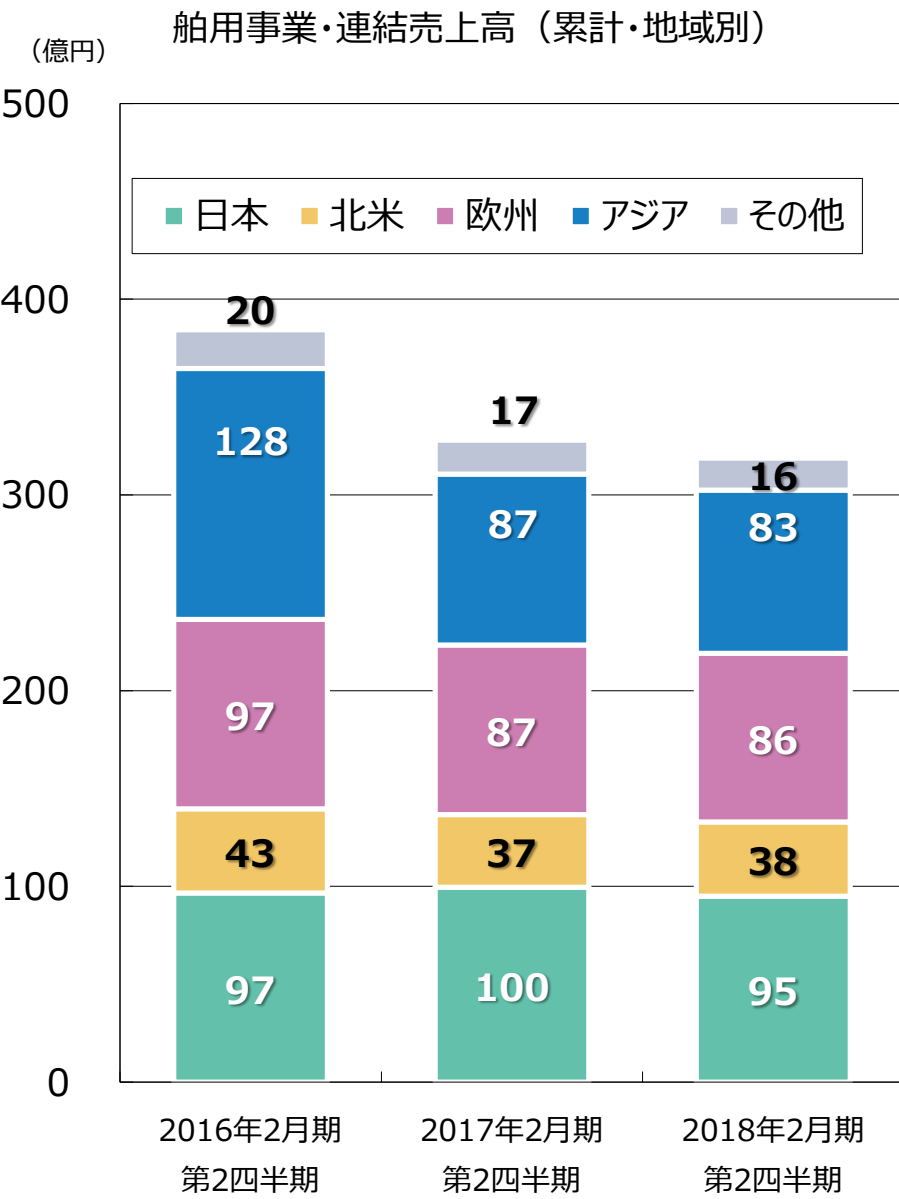
◆ 四半期純利益 ▲5.6億円

特別利益 +1.2億円

➤ 今期：投資有証売却益 0.7億円

特別損失 ▲0.2億円

➤ 前期：減損損失 0.2億円



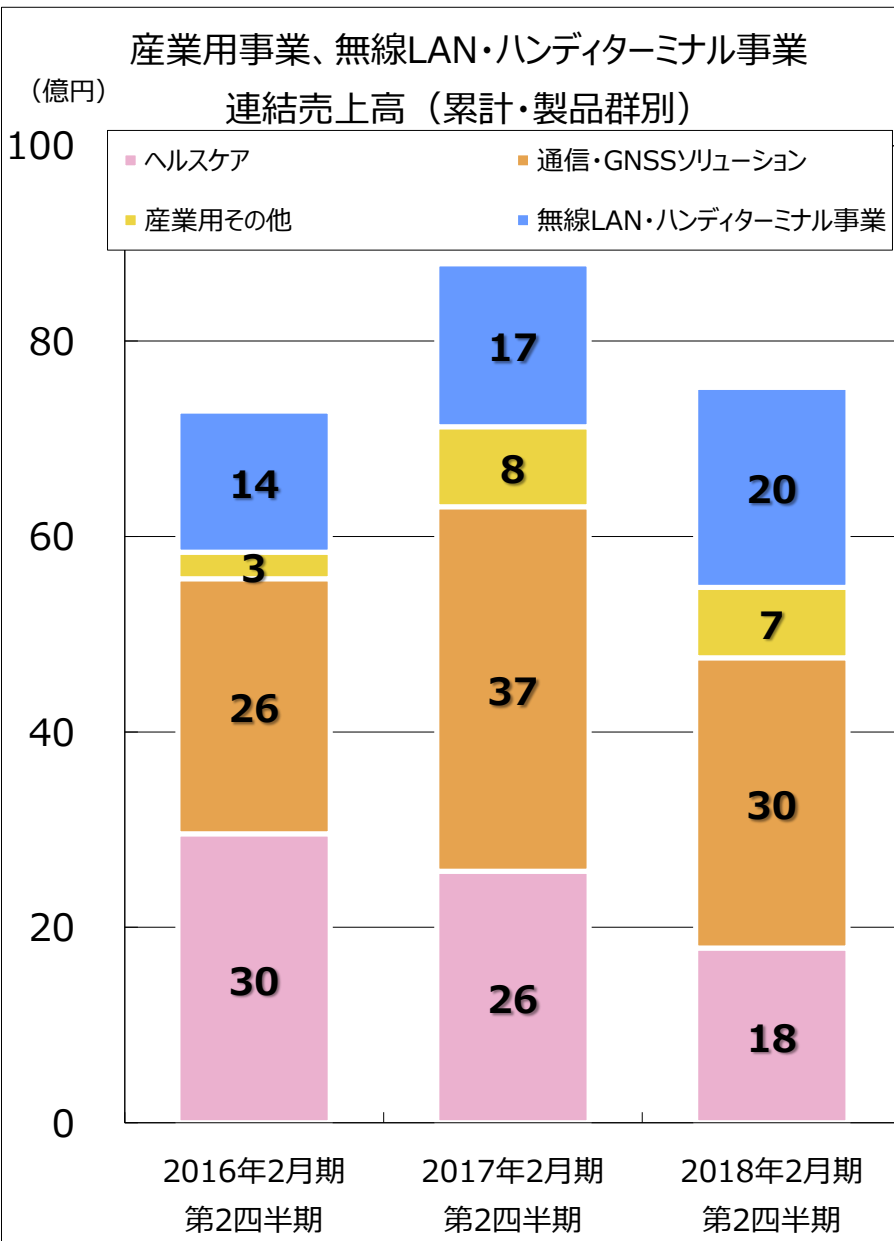
船用事業：減収減益

売上高 318億円（前年同期比 ▲2.8%）

セグメント利益 10億円（▲6.1億円）

⇒商船市場向け販売減と為替影響で減収減益

- ◆日本：売上高 95億円（▲4.6%）
 - 漁業向けと小型商品（プレジャーボート向け）の増収継続、商船向けの減収幅は縮小
- ◆北米：売上高 38億円（+2.0%）
 - 漁業向けが増収拡大も、小型商品は依然低迷
- ◆欧州：売上高 86億円（▲0.5%）
 - 商船向けが増収継続、漁業向けと小型商品は減収
- ◆アジア：売上高 83億円（▲4.5%）
 - 漁業向けは堅調、商船向けで減収継続



産業用事業：減収減益

売上高 54億円（前年同期比 ▲23.1%）

セグメント利益 1.7億円（▲2.6億円）

⇒通信・GNSS、ヘルスケアの2事業で減収拡大

◆ヘルスケア事業：売上高 17億円（▲30.5%）

▶ 生化学自動分析装置の減収が拡大

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 29億円（▲20.4%）

▶ 周波数発生装置を除き、ETC車載器等が減収

無線LAN・ハンディターミナル事業：増収増益

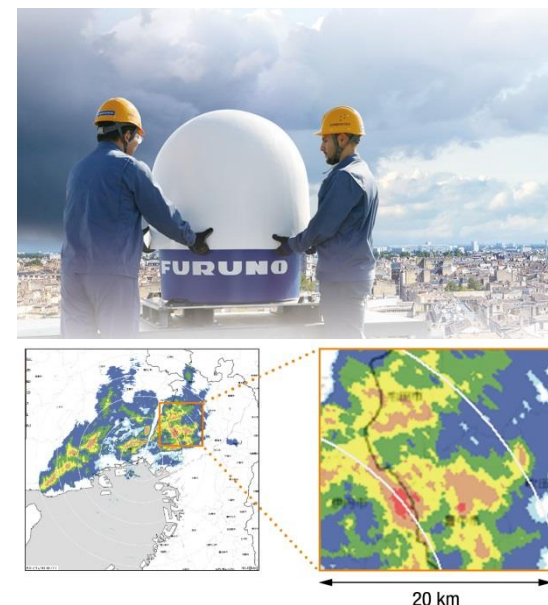
売上高 20億円（前年同期比 +22.8%）

セグメント利益 4.8億円（+3.1億円）

⇒無線LANアクセスポイントが引き続き好調

気象観測レーダーのラインナップを拡充 / 新型気象レーダー「型式：WR110」を開発、来春発売へ

- ◆ 小型Xバンドドップラ気象レーダー「型式：WR110」を新開発しました。本商品は、従来機種と同様にランニングコストの削減を実現する固体化（半導体）素子を採用しつつ、より導入コストを抑えた単一偏波ドップラ気象レーダーとして、2018年春に国内外で販売を開始する予定です。
- ◆ 世界のXバンド（9GHz帯）レーダー市場は、気象観測の先進地域である日本・北米・欧州に限らず、今後はアジアやアフリカ等でも需要拡大が見込まれます。当社は、今回の新商品によって、2013年に新規参入した気象観測システム分野における事業展開を加速してまいります。

**小型船向けに開発した8.4型カラー液晶レーダー「型式：MODEL1815」**

- ◆ 中小型のプレジャーボートや漁船、ワークボートなどを対象に開発した8.4型カラー液晶レーダー「型式：MODEL1815」は、ライトユーザーから日々の操船作業で活用される方まで、さまざまな需要にお応えできる新商品として好評を博しております。
- ◆ 設置性に優れたコンパクトな筐体に、船舶の安全航行に不可欠な機能を各種搭載した本商品の特徴は、下記ウェブサイトをご参照願います。

ウェブサイト⇒ <http://www.furuno.com/jp/products/radar/MODEL1815>



補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2017年2月28日現在



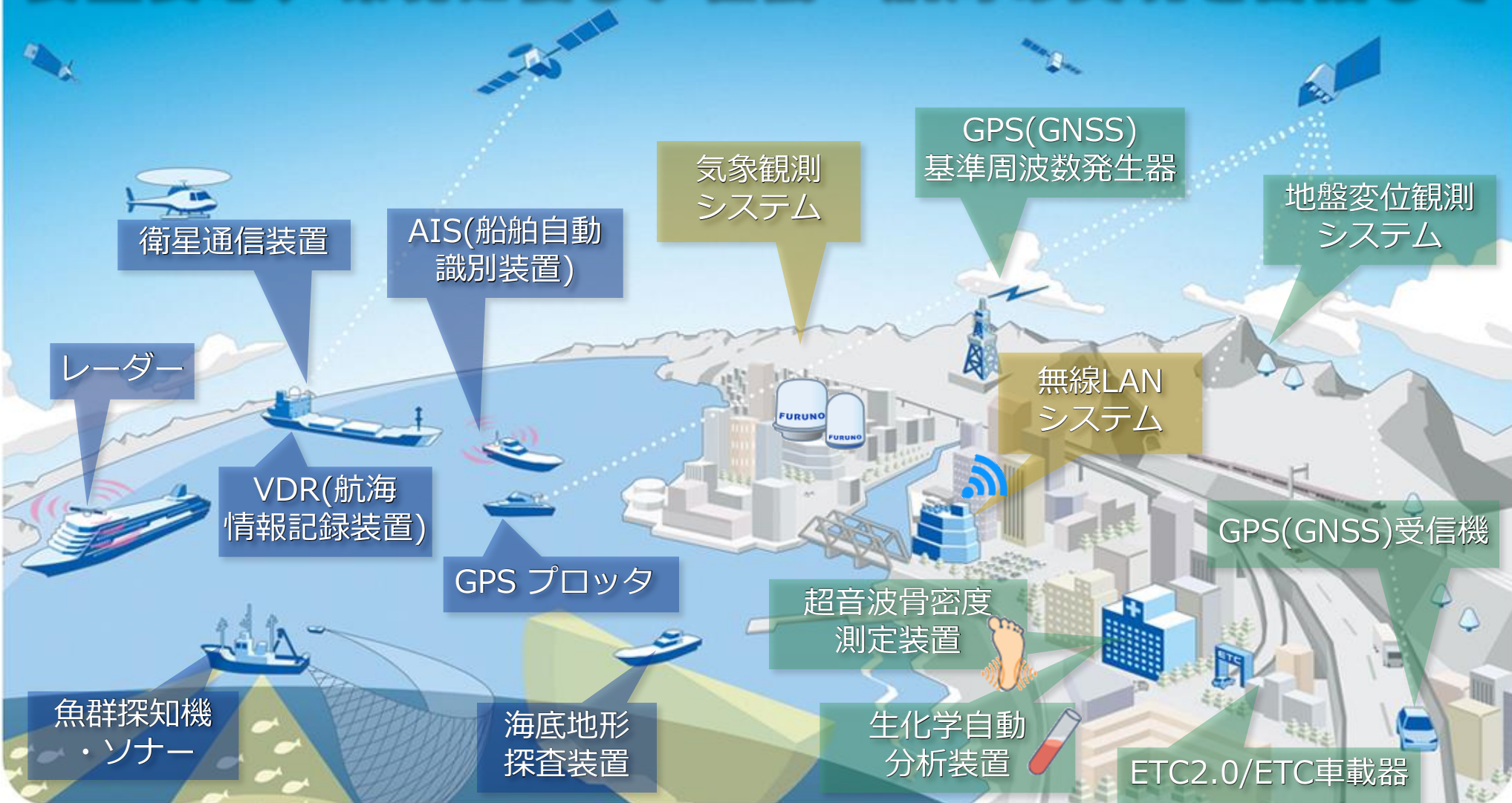
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年（昭和26年）
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

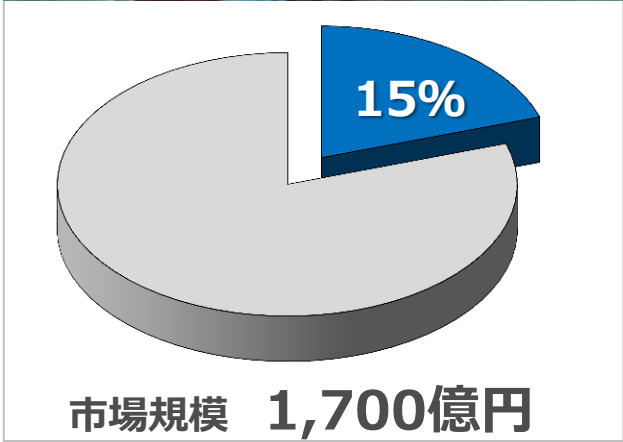
企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

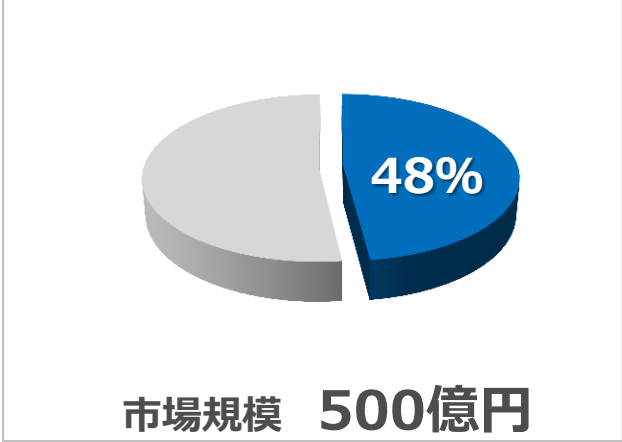


市場規模は、2016年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



漁業向け



総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 3,900億円のうち、シェア16%占める)